

たき みず 滝の水

遊佐町吹浦

～平成29年度選定～



里の名水・やまがた百選



JR羽越本線女鹿駅の南200mほどのところの遊佐町滝ノ浦地区の中にある大鳥神社境内で滝のように流れ落ちる湧水である。鳥海山の伏流水で、この地区には他にも湧水があるが、中でも最大の湧水がこの滝の水で、集落の名前が「滝ノ浦」の由来となったと言われている。



〔管理者・保全団体〕滝ノ浦地区

歴史や利活用

この地区では、古くから飲用や洗濯等の生活用水として使われてきた湧水である。

アクセス

(北緯 39.097035°、東経 139.880509°)

国道7号線沿いの道の駅「鳥海ふらっと」から北に100mほど進み、国道345号線に左折し分岐点から5kmほど進むと、道路右側(東側)に滝ノ浦集落がある。駐車場はなく、国道345号線からの通路も狭いので、集落付近の国道沿いの駐車帯に車を止め、徒歩で100mほどのところに大鳥神社がある。



近くの見どころ

- <やまがた百名山> ◆ 鳥海山、笙ガ岳
- <日本一の滝王国山形> ◆ 胴腹滝、一ノ滝、二ノ滝(遊佐町吉出)
- <やまがた景観物語> ◆ 湧水の芸術 幻想的な水辺の空間「丸池様」

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

